

折野 和己 様（事業部長）

この度はお忙しい中、お時間をいただき誠にありがとうございました。

今回はお客さまにとって必要な訪問診察を行うために何が大切かを見せていただくためにお邪魔しました。事務作業等の「効率化」は全て働くスタッフの働きやすい環境づくり、各自のホスピタリティの維持・向上のためのもので、利益優先のものではないと分かりました。

わたしたちも岡山で今あるかたちから理想のかたちを模索しながら、お客様はもちろん、職員やその周辺の人々にも働きやすい環境を作っていきたいと思っておりますので、これからもよろしくご指導・お付き合いのほどよろしくお願い致します。

2013年9月

廣金 明美 様（岡山光南病院看護部長）

本日はお忙しい中、見学の依頼に対応していただき有難うございました。

午前中の在宅同行訪問、午後からの遠矢院長および村上事務長のお話を通して、改めて在宅医療のあり方を考えることができました。

私は看護師の立場から「寄り添う医療および看護」を目の当たりにし、相手の気持ちに寄り添うこと、理解すること、介護保険を理解し必要な情報が提供できること等、看護師として出来る事を体感することができました。制約された時間の中でありながらも時間に捉われず、焦らず、タイミングよく対応している。利用者さんだけでなく一番の介護者さんの心にまで寄り添いフォローができています。まさしく“寄り添う医療”だと痛感しました。

職場スタッフが理解し実践できるには、年単位になるかも知れませんが、「寄り添う在宅医療および看護の提供」につなげていきたいと思っております。

2013年9月

有森 真希 様（こうなんクリニック事務部長）

先日は心からの厚いおもてなしをいただき、ありがとうございました。

独自開発された電子カルテや iPhone・iPad を利用した情報共有や、ディクテーションによる診療補助はとても参考になりました。当院でもすぐに取り入れていこうと思っております。ただし組織的な体制（特に夜間）は職員の負担を軽減し持続可能な在宅医療を提供するよいお手本と感じましたが、すぐに当院で構築出来るような簡単なものではないと痛感しています。

遠矢院長の在宅医療に対するマインドや患者さん・ご家族へのホスピタリティは同行さ

せて頂いた先生方からも伺えましたし、看護師さんの質も相当高いことがわかりました。同行した訪問先のご家族の中に先生、看護師さんの励ましや助言で涙を浮かべられておられた方が複数いらしたことが今でも忘れられません。まずここに着手しなければ患者さん・ご家族さん・職員からの信頼も得られないし、組織体制は始まらないと思います。見学前に便利さや効率性のみを考えていた自分を反省し、今後は事務方ですが現場にも積極的に参加していきます。

遠矢院長、村上事務長、良い機会を与えて頂きありがとうございました。岡山にお越しの機会があればお気軽にお寄りください。

2013年9月

武南 貴大 様（本部 SE）

今回訪問させて頂いて全てにおいてホスピタリティの高さを実感致しました。そして主に3つ感じたことを書かせて頂きたいと思います。

・ チーム医療体制が整っている事。

朝の申し送りや事務、看護師、医師が一丸となって業務を推進し、皆さんの意思疎通が出来ていると実感致しました。また皆さんが意見を出し合っより良い医療を進めている事を実感致しました。

・ システムの効率化

スマートフォン、ボイスレコーダー、スケジュールの管理等の体制が整っている為、医師の診療、看護師の負担の軽減が図られており、このような体制の整備は在宅診療を進めていく中で大変重要だと認識致しました。

・ 患者様との強い信頼感

先生が身内であるかの様に話されていて、患者様は本当に先生を信頼している事を実感致しました。会話する中で先生に対する信頼感を持つことで、患者様は安心して医療を受けられているのだと認識致しました。また患者様とご家族の方との強い繋がりがあってこそ在宅医療だと実感致しました。

以上となります、ありがとうございました。